

被災者は我慢が当たり前ですか??

福祉防災を考える

自力で避難することが
困難な人への
支援・対策は?

車椅子利用者（東日本大震災体験者）の
お話を聞いて考える“そのとき”
早く日常に戻るためには?



ゲスト：小野和佳さん

2025年 **10**月**4**日(土)

13:30~16:00

会場：宮前市民館第4会議室

参加費：無料（資料代は別途）

定員：50人



●詳細及びお問い合わせは裏面をごらんください●

主催：宮前区まちづくり協議会

企画：福祉部会



つなぐ・むすぶ・ひろげる

宮前区まちづくり協議会

福祉防災を考える

●福祉部会からのメッセージ●

震災が起きライフラインが損傷した時、生活が続けるのは、誰にとっても大変な困難が伴いますが、ハンディキャップのある方々はどれだけ大変なことか。

そこで「福祉防災」に特化した企画を立てました。

ご自身も障害がある身で東日本大震災を経験された小野和佳さんの話を伺い、避難に支援が必要な方への課題を話し合います。

また避難所の受け入れ体制や福祉避難所（二次避難所）への移行はどう変わってきているのでしょうか。川崎市健康福祉局危機管理担当課長の中島洋幸さんに市の対応状況をお聞きします。

ゲストお2人のお話を聞きます

神奈川県障害者自立生活支援センター 小野和佳さん

1982年 生まれ 脳性まひ

2003年 福島県いわき市 いわき自立生活センターに所属

2013～2016年3月 神奈川県障害者自立生活支援センターに所属

2017～2022年3月 自立生活センター 自立の魂に所属

2011年の東日本大震災を受け、福島県内の自立生活センターで、原発事故等による、障害者の転居・居住場所の支援を目的とした「サテライト自立生活センター」を開所。その活動の為、神奈川県相模原市へ転居する。

現在、この活動は終了しているがこれからの為に必要な活動を模索しながら神奈川県内を拠点として活動が続いている。一人暮らしをはじめ、20年以上、2024年からヘルパー利用を開始。

川崎市健康福祉局
危機管理担当課長
中島洋幸さん

プログラム

- 13:30 開会
- 13:40～14:40 小野さんのお話
- 14:40～15:00 質疑・意見交換
- 15:00～15:45 中島さんのお話
- 15:45～16:00 質疑・意見交換



【お申込み・お問い合わせ】 右記2次元コードまたは下記へ
①お名前②連絡先③区内区外④年代⑤所属（①②必須）を
明記の上 m.machikyo2024@gmail.com まで

